

## 2.5 平成 15 年 7 月九州地方豪雨時における水俣市の防災体制の 実態

## 平成15年7月九州地方豪雨時 における水俣市の防災体制の 実態

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
危機管理技術研究センター 砂防研究室  
野呂智之

## 実態調査

### 【調査内容】

平成15年7月20日災害発生時における  
水俣市の初動対応

### 【手法】

市役所職員に対するヒアリング

## 災害発生時における市職員 の動員計画

- 第1号配備体制（情報収集体制）
- ↓
- 第2号配備体制（注意体制）
- ↓
- 第3号配備体制（警戒体制）
- ↓
- 第4号配備体制（全職員出動体制）

## 第1号配備体制

災害発生のおそれがある注意報又は警報が発表された場合、災害処理に関係する部課（局）長は、所属職員を必要に応じ応急措置推進のため配置

気象情報の接受・通報、部外諸機関との連絡、市民からの通報受領、現地調査（計 12名）

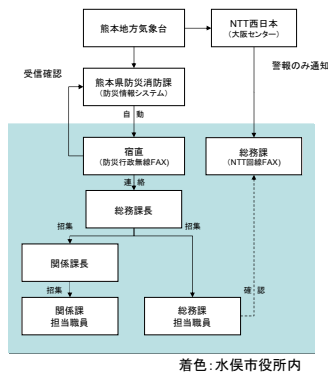
（総務班） 4名

総務課

（調査対策班） 8名

土木課、都市政策課、下水道課、農林水産課、  
水俣芦北広域行政事務組合消防本部

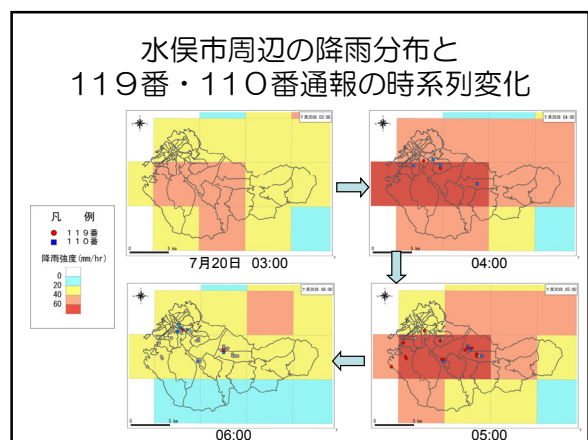
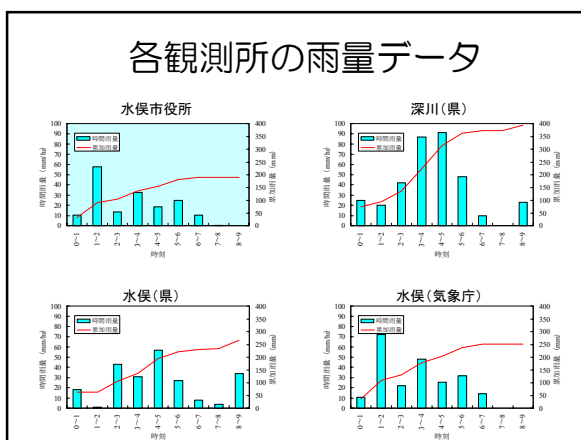
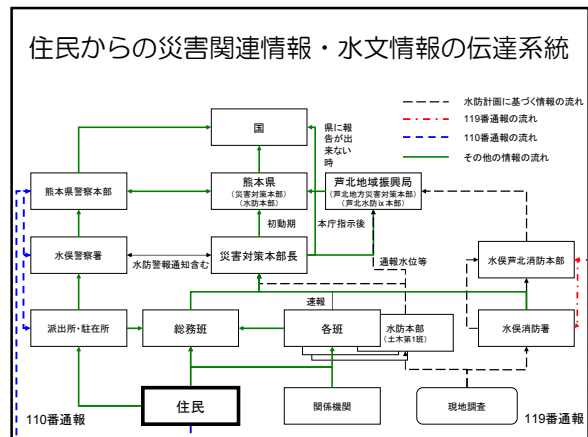
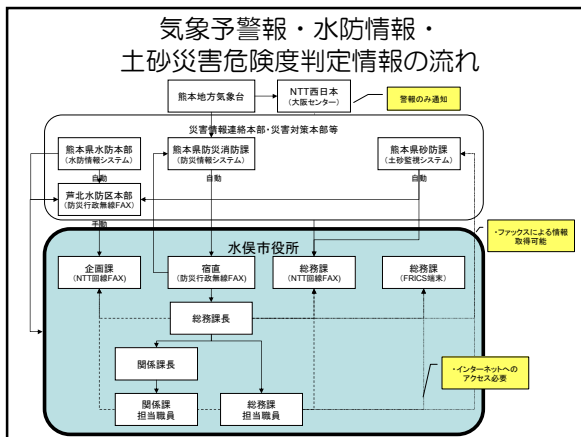
## 気象予警報伝達・職員の召集体制



## 水俣市 総務班・調査対策班の参集実績 (2003/7/20)

時間帯	第1号配備体制職員		その他職員	幹部職員	備考
	総務班	調査対策班			
1:30 ~ 2:00			2		2時までに出勤した2名は下水道職員(災害発生作戦による当番職員の出勤)
2:00 ~ 2:30					
2:30 ~ 3:00	2				
3:00 ~ 3:30					
3:30 ~ 4:00	1	4	2		
4:00 ~ 4:30	1	1	1		
4:30 ~ 5:00			15	3	幹部職員3名の内訳：市長、総務企画部長、産業建設部長
計	4	5	20	3	

▶ 災害発生



### 災害後に見直された体制

- ▶ 初動体制確立の迅速化
  - ・ 徹底対応の見直し、要員の増員、
  - ・ 各班の役割分担や体制の設置基準の明確化
- ▶ 注意報発令にともなう警戒体制の確立
  - ・ 第1号配備体制（警報発令）の前に事前出動（注意報発令）
- ▶ 情報収集・提供の効率化、適切化
  - ・ 関係機関との連絡窓口を設置

終